

# News Release

2018年12月4日  
株式会社日立製作所

## 調達戦略的ソーシング業務を支援するJAGGAER社S2Cアプリケーションを日立の導入ノウハウと組み合わせ「TWX-21 Source to Contract サービス」として販売開始

JAGGAER社S2Cアプリケーションを導入し、日立グループの調達業務のさらなる高度化を推進



調達業務プロセスおよび TWX-21 Source to Contract サービスの適用範囲

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、サプライヤーの調査から見積もり、交渉、契約までの S2C 業務のデジタル化を支援する戦略ソーシングアプリケーション市場のリーディングカンパニー\*1である米国 JAGGAER(CEO:Robert Bonavito(ロバート・ボナヴィート)/以下、JAGGAER(ジャガー)社)と、同社の S2C アプリケーションについて販売代理店契約を締結しました。

日立では、本契約に先立ち、日立グループの調達業務改革の一環として JAGGAER 社 S2C アプリケーションを 11 月 6 日より導入・本番稼働を開始しており、日立グループ全体の S2C 業務の一元管理による業務プロセスの可視化や担当者間のサプライヤーの評価や契約交渉などの知見共有による調達業務のさらなる高度化を推進しています。

今回、この自社導入で得られたノウハウを活用した導入支援サービスと JAGGAER 社 S2C アプリケーションを合わせ、「TWX-21 Source to Contract サービス」として 12 月 4 日から販売開始します。日立は、JAGGAER 社 S2C アプリケーションのサプライヤーの評価、育成などの管理機能や、見積もり、契約などのソーシング機能を活用することにより、これまで個別最適化されてきた S2C 領域での業務プロセスを統一し、全社的な知見の共有を可能にすることで、バリューチェーン強化に向けた戦略的な調達業務の改革を支援します。

\*1 「Gartner 2018 Magic Quadrant for Strategic Sourcing Application Suites」において、実行能力(Ability to Execute)で最高点を記録し、戦略ソーシングアプリケーション市場のリーダーと評価

近年、競争の激しいグローバル市場で勝ち抜くために、調達部門には抜本的な調達コストの低減に加えて、供給の安定化やリスクアセスメントなどの観点も踏まえた戦略的な調達活動が求められて

います。しかし、調達業務のうち P2P 領域でのデジタル化は既に普及している一方、S2C 領域での対応は遅れており、国や地域の調達部門、さらには個人ごとに個別に最適化が図られていることが多く、グローバルに展開する企業グループ全体の業務知見を蓄積し、より競争力の高いバリューチェーンを構築する上での課題となっています。日立は、長年にわたり、調達業務改革に取り組んでおり、調達部門の業務プロセスの標準化やグローバル統一のシステム構築を進め、日立グループ内に適用してきました。そのノウハウを活用した TWX-21 は、主に P2P の業務改革を支援するクラウドサービスとして、日立グループ含め約 6 万 6 千社\*2 のお客さまの取引を支えています。今回、このような S2C 業務のデジタル化のニーズに応えるため、「TWX-21 Source to Contract サービス」を TWX-21 のサービスメニューに新たに追加しました。

\*2 2018 年 11 月時点

「TWX-21 Source to Contract サービス」は、グローバルビジネスを推進する日立グループ内への JAGGAER 社 S2C アプリケーションの展開を通じて得られたノウハウをもとに、導入支援サービスを組み合わせ提供します。例えば、S2C 業務プロセスの改善や標準化を支援する業務コンサルティング、KPI\*3・テンプレート設定を含めたワークフローの設計や、SE サポート、ユーザーマニュアル・ヘルプデスクの提供など、導入から稼働、保守、運用まで一貫したサービスを提供することで、S2C 業務の可視化、高度化を支援します。

JAGGAER 社 S2C アプリケーションは、サプライヤーへの要請書である RFx\*4 の作成・回答依頼、契約書の作成・交渉・署名などのソーシング管理だけでなく、サプライヤーに関わるさまざまな情報からスコアリングを行うサプライヤー管理の機能を提供します。具体的には、コンプライアンスやソーシング案件への対応状況、実案件から蓄積される納期遵守率や不良率などの実績、資格審査やリスク審査結果などの多種多様な情報に基づいてサプライヤーごとにスコアカードを作成、更新することにより、継続的かつ多角的にサプライヤーを評価することが可能になります。また、サプライヤーとの協創、育成を通じた開発プログラムを策定し、サプライヤーにおけるパフォーマンス向上やリスク低減を協働で進めることで、戦略的にパートナーシップを構築することができます。

さらに、TWX-21 の P2P 向けサービス\*5 と組み合わせることで、調達プロセス全体を一元的に管理できるシステム環境を提供し、グローバルビジネスにおけるお客さまの戦略的な調達業務を支援します。

\*3 KPI: Key Performance Indicator(組織やチームで設定した最終的な目標を達成するための、過程を計測・評価する中間指標)

\*4 RFI: Request for Information(情報提供依頼書)、RFP: Request for Proposal(提案依頼書)、RFQ: Request for Quote(見積依頼書)の総称

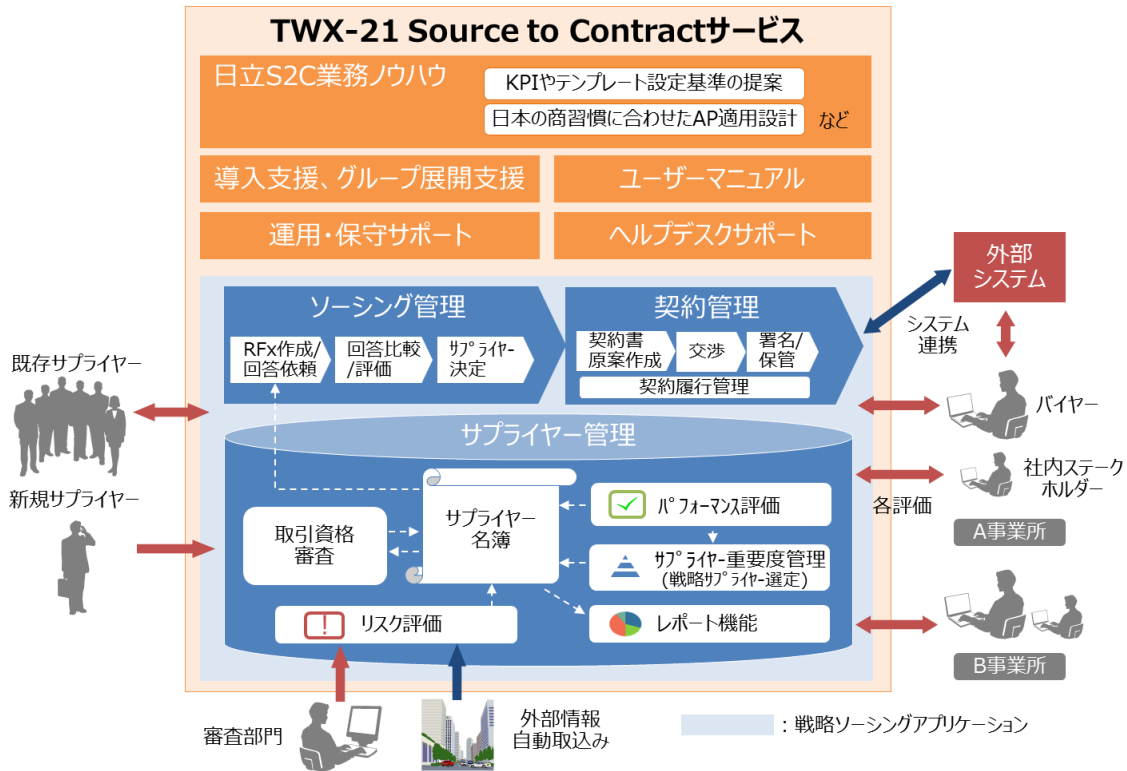
\*5 EDI(Electronic Data Interchange)サービス、Web-EDI Global サービス、クラウド型購買サービス、e-sourcing/MRO 集中購買サービスなど

日立は、今後も、お客さまの業務課題やニーズに応じ、継続的に TWX-21 サービスの拡充・強化を図りながら、調達業務の高度化によるお客さまの戦略的なグローバル経営を支援していきます。

■ JAGGAER 社 CEO Robert Bonavito 氏からのコメント

日立の導入ノウハウと当社の S2C アプリケーションを組み合わせた「TWX-21 Source to Contract サービス」を採用いただくことで、日本を含めたアジア地域のお客さまが、調達業務の高度化によるデジタルトランスフォーメーションを加速できることを期待しています。

■ 「TWX-21 Source to Contract サービス」の概要図



■ JAGGAER 社 S2C アプリケーションの機能一覧

モジュール	基本機能	機能概要	
サプライヤー管理	サプライヤー登録	バイヤーがサプライヤー(組織)を登録、管理	
	取引可否審査	リスク評価を実施し、取引開始/継続に問題ないかを審査・承認	
	リスク評価	サプライヤー入力情報・外部情報などをもとに、財務、法令違反、CSR <sup>*6</sup> などの面で取引にあたってのリスクをシステム側でスコアリング	
	パフォーマンス評価	実取引におけるQCD <sup>*7</sup> などのサプライヤーパフォーマンスについて関連部門担当者が入力した評価結果をシステム側でスコアリング	
	サプライヤー開発	サプライヤーパフォーマンスを向上するための計画を立案、実行管理(サプライヤーにタスク実施依頼することも可能)	
ソーシング	RFx	バイヤー機能	RFI/RFP/RFQの作成、回答依頼の送付、サプライヤー回答比較&評価
		サプライヤー機能	RFI/RFP/RFQ回答作成
	オークション	バイヤー機能	リバースを含むオークションの開催
		サプライヤー機能	オークションへの参加
	契約管理	バイヤー機能	条項管理、契約書雛形の作成、社内レビュー、交渉、署名、履歴管理
	サプライヤー機能	交渉、署名、履歴確認	

\*6 CSR: Corporate Social Responsibility (収益を上げ配当を維持し、法令を遵守するだけでなく、人権に配慮した適正な雇用・労働条件、消費者への適切な対応、環境問題への配慮、地域社会への貢献を行うなど、企業が市民として果たすべき責任)

\*7 QCD: Quality, Cost, Delivery (品質・費用(価格)・配達(納期)のこと)

## ■価格および提供開始時期

ソリューション名	メニュー内容	価格	提供開始時期
TWX-21 Source to Contract サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>・導入支援(ワークフローの設計支援、SE サポートなど)</li><li>・運用・保守(ユーザーマニュアル、ヘルプデスクなど)</li><li>・サプライヤー管理(サプライヤー情報管理、取引審査など)</li><li>・ソーシング管理(RFx、サプライヤー選定など)</li><li>・契約管理(雛形作成、交渉、バージョン管理など)</li></ul>	個別見積	2019年1月

## ■JAGGAER 社について

JAGGAER 社は、支出管理ソリューションを提供する世界最大規模の独立系会社として、北米、中南米、ヨーロッパ、英国、オーストラリア、アジア、中東およびその他の地域にオフィスを構えており、70 カ国・地域における 370 万社のサプライヤーがネットワークにつながる約 2,000 社の顧客を有しています。高度な支出分析、調達、サプライヤー管理、契約ライフサイクル管理、貯蓄追跡、インテリジェントなワークフロー機能を備えた SaaS ベースのさまざまな調達ソリューションを提供しています。また、JAGGAER 社は 20 年以上にわたりソリューションを開発し、顧客の声を聞き市場を分析することでイノベーションをけん引し続けてきました。当社のソリューションは、製造、教育、ヘルスケア、小売、消費財、物流、建設、公共サービス事業の分野のお客さまへの導入実績があります。さらに、当社では、38 件の特許技術を保有しています。詳細については、本社サイト(英文) [www.JAGGAER.com](http://www.JAGGAER.com) をご参照ください。

## ■「TWX-21」に関するホームページ

<https://www.twx-21.hitachi.ne.jp/>

## ■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部  
お問い合わせフォーム: <http://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---